

開催日：令和３年(2021年) 7月１日
会場：大船中学校

番号	質問・意見の内容	市の回答
1	新駅設置について合意したといっているが、新駅は必要ないと感じます。 また、深沢は洪水浸水の危険がありますが、市民を守る防災拠点の設置場所として不安があります。	鎌倉市では、鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第三の都市拠点として深沢のまちづくりを進めていきたいと考えています。深沢のまちづくりが完成すると年間約16億円の税収増が見込まれ、これを全市的に子育てや福祉など様々な用途に活用していきたいと考えており、深沢のまちづくりは未来に向けた投資として着実に進めていきたいと考えています。 防災拠点となる本庁舎、消防本部等が設置される行政施設街区は、想定最大規模の降雨(24時間あたり632mm)でも浸水しません。市民の皆様に安心して生活していただけるよう、ここを全市的な防災拠点とする計画です。
2	保留地が売却できなかった場合が心配です。	保留地の売却については、令和２年度から令和４年度までの３年間で、まちづくりの方向性を定める「まちづくりガイドライン」でまちの魅力や価値を示し、確実に保留地を売却できるよう事業を進めてまいります。
3	市民の意見を取り入れて事業を進めていただきたいです。	深沢の新しいまちづくりは、第３次鎌倉市総合計画第４期基本計画や、鎌倉市都市マスタープランなど、市民の代表である市議会で承認を得た行政計画に基づくものです。さらに、深沢のまちづくりに関しましては、平成16年に「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」を策定しています。これらの行政計画を公表するとともに、計画に沿って着実に事業を進めていくことが、市の責務であると考えています。 この他、市議会へ都度事業進捗を報告することや、都市計画法に基づく手続きにおける意見書、パブリックコメント等も行いながら、適宜実施してまいります。
4	柏尾川から湘南モノレール湘南深沢駅につながる、梶原川沿いの細い道は、交通量のわりに道が狭いと感じています。拡幅する予定はありますか。	梶原川沿いの道路については、現在の開渠(歩道や道路などで覆われていない状態)となっている河川を塞ぎ、その上で事業に合わせて道路幅を12mに拡幅する予定です。
5	土地所有者の土地を減らす「減歩」の説明がありましたが、土地が減って損害を被ることはないですか。また、現在建っている建物はどのようなのでしょうか。	土地区画整理事業は、区域内の土地を所有する皆様から少しずつ土地をいただいて、その土地を道路用地にしたり、売却して事業の費用を賄っていく手法です。道路や下水道等が整備されることで、土地の価値が上がるため、面積は減りますが土地の価値は変わりません。 さらに、土地区画整理事業では、新しい土地に所有権を移す「換地」という手順を踏むこととなります。現在の土地に建物が建っている場合は、新しい土地に家を建て直すための補償費を、現在の建物価値等を換算してお支払いすることとなります。
6	開発されることで、どのくらいの人の増加が見込まれるのでしょうか。今以上に渋滞が発生することが懸念されます。	現在の深沢地域整備事業の土地利用計画（案）において、住宅系の土地利用を想定している都市型住宅等の街区にマンションや戸建て住宅などが出来上がると、およそ2000～3000人の人口増を想定しています。 また、新駅が出来ることで、車で大船駅や藤沢駅に通勤、買い物などをしていた人が新駅を利用することで、渋滞が減少すると試算しています。さらに、地区周辺の渋滞緩和のため、湘南町屋駅のセブンイレブンの辺りから三菱電機鎌倉製作所南側沿いに柏尾川沿いの県道に抜ける道路の整備も計画しています。
7	どのような企業が立地するのか、具体的に決まっていれば教えていただきたいです。	具体的にどのような企業が立地するかは、決まっていません。

8	新駅設置に税金を使う理由が分かりません。 また、深沢のまちのイメージが伝わってこない。これだけの大きな土地を利用するにはどうすればよいか、グランドプランをもう少し考えていただきたいです。行政施設街区には本庁舎が出来るとのことだが、誰も本庁舎移転に賛成していない。市民公園にしてはどうでしょうか。深沢のまちを起爆剤にして鎌倉をもっと明るく楽しい夢のあるまちにしてほしいです。	新駅の設置については、鎌倉市都市マスタープランにおいて「新駅の設置により、深沢地域の魅力の向上や交通ネットワークの形成への寄与等が期待される」としており、着実に進めていきたいと考えています。 また、令和2年度から令和4年度までの3年間で策定するまちづくりガイドラインの検討においては、VR（バーチャルリアリティ）を活用していきたいと考えています。そうした映像を活用しながら、市民の皆様とまちのイメージを共有したいと考えています。 なお、行政施設・公園街区には、鎌倉市民にとって念願のスポーツ施設の設置を想定しています。こうした施設の設置により、市民の皆様様の夢や期待に応えられるよう、まちづくりを進めていきたいと考えています。
9	過去のパブリックコメントで「事業計画地はもともと遊水地だったが、まちづくり後の遊水池機能はどうなるのか」というコメントを出したが、市の広報誌を見ている、今までお答えを聞く機会が無かった。改めて市の考えを教えてください。	深沢地域整備事業の土地利用計画（案）を策定する際に実施したパブリックコメントでは、47名の方から128件のご意見をいただきました。これだけの量があり、広報がまくらへの掲載はできませんでしたが、ホームページに意見一つずつに市の回答を載せるとともに、市議会においても報告させていただきました。ご確認できていないということであれば、深沢地域整備課にご連絡いただければ、どのような回答をさせていただいたか説明させていただきます。 なお、事業計画地は、もともと調整池ではありません。ただ、柏尾川は特定都市河川浸水被害対策法という法律における特定都市河川です。更地であった場所にまちができると、今まで地面に浸透していた雨水が浸透しなくなるため、事業の中で法律に定められた量を最低限確保できるように調整池を整備します。想定の数値として、法律に基づく調整池の貯留能力は約9,000m³弱ですが、それを上回る約12,000m³の調整池を設置します。さらに各街区に立地する事業者にも水を貯める機能を備えていただくよう協力を求め、最終的に地区全体で約24,800m³の水を貯められるような調整池機能を整備したいと考えています。
10	今年の4月29日に開催された説明会で津波に関する発言をしました。ホームページに記録が公開されていません。津波の被害が想定される地域にまちをつくり、本庁舎を移転することに懸念があるとおもいます。	4月29日に開催した説明会で、ご質問いただいた内容は「津波のシミュレーションはしているのでしょうか。」という質問とそれに対する市の回答をホームページに掲載しています。ご意見いただいた方の連絡先を把握していないため、ホームページに掲載した旨の案内はできておりませんが、どなたでもご覧になれる状態です。 津波による浸水被害については、防災の専門家で組織した鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会防災部会からの報告書において、危険性は非常に低いと判断されています。本庁舎整備についても、市内の他の地域との比較において、津波、その他災害等を複合的に考慮した場合、災害リスクが非常に小さい地域であると報告を受けています。
11	鎌倉駅周辺から深沢地域への交通はどうなるのでしょうか。	鎌倉駅周辺とのアクセスについては、バス、モノレール、新駅等を利用して新しい本庁舎をご利用いただくこととなります。
12	津波の被害について、何を根拠に危険性が低いといっているのでしょうか。低い土地では防災拠点にはならない。	防災の専門家で組織した鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会防災部会での検討においては、平成27年に神奈川県が公表した津波浸水想定図、平成25年に鎌倉市が公表した津波ハザードマップ、その他、神奈川県が相模トラフ地震、元禄関東地震など様々な地震を想定してシミュレーションした資料を用いて検討を行いました。その結果、いずれのシミュレーションにおいても、深沢地区に津波による浸水被害は想定されず、危険性は非常に低いという結論をいただきました。
13	深沢地区の土地区画整理事業、本庁舎の移転、新駅の設置は確定事項なんでしょうか。 また、住民投票や住民への意見聴取といった市民の意思を反映する機会はありますか。	深沢地区の土地区画整理事業とその都市計画決定については、鎌倉市総合計画やその総合計画に沿った都市マスタープランなど、市議会で承認を得た行政計画によって進めています。この市民の代表である市議会に承認いただいた行政計画を公表するとともに、その計画に沿って着実に事業を進めていくことが、市の責務であると考えています。同様に、本庁舎の移転についても、市は移転をするという行政計画を定めており、計画に沿って移転に向けて検討を進めております。 また、新駅に関しましては、先述の鎌倉市都市マスタープランにおいて、東海道本線の新駅構想を視野に入れながら、深沢地区を鎌倉の新しい拠点として整備を図ることと定めています。加えて、令和3年2月8日に、神奈川県、藤沢市、鎌倉市及びJR東日本で合意し、覚書を締結しており、新駅を設置する市の方針を決定しています。 ご意見いただいた市民意見の反映についてですが、市議会での行政計画の承認だけでなく、市議会へ都度事業進捗を報告することや、都市計画法に基づく手続きにおける意見書、パブリックコメント等も行いながら、適宜実施してまいります。

14	本庁舎移転後の跡地はどうするのでしょうか。	本庁舎の跡地につきましては民間資金を取り入れながら、利活用をしたいと考えています。大きな方向性としては、移転後、一部窓口の機能を残しつつ、生涯学習センターのホール、ギャラリー機能、中央図書館の機能などを集約したいと思っています。そこに加えて民間企業の機能も入れることで、賑わいや憩いを創出しながら、地域活動の拠点となる場にしていく計画です。 各論の話になりますが、避難所的な機能も当然検討をしています。本庁舎が深沢に移転し、現状の場所が跡地になるのは10年程先になるため、具体的なものではありませんが、少なくとも観光客などの一時避難に使えるようなことは検討しているところです。
15	私は深沢地域に住んでおり、用地を見て今のままではもったいないという気持ちを持っています。 新駅について、最初は短い区間に新しく駅を造ることを疑問に思いましたが、大船、鎌倉駅間の北鎌倉も同じような距離感の駅です。そういえば、鎌倉の交通体系がそれだけよくなると考えています。 ウェルネスもいいが、若い人が集まる場所、若い人が集まるコンセプトを忘れないでいただきたいです。数日前の新聞で扱っていましたが、こんな社会状況の中でも、流山や松戸は人口が増えています。ぜひ参考にさせていただきたいです。	新駅設置により将来の深沢地域が交通の結節点となり、多くの方で賑わうまちづくりを目指していききたいと考えています。 また、ご意見いただいた他市について、流山は子育てのしやすさを打ち出しており、子育て世代に選ばれるまちになっていると感じています。他自治体の優良事例を研究しながら、まちづくりを進めてまいります。
16	市役所の移転について、現在の市役所跡地については売却ではなく、定期借家等でデベロッパーに渡し、そこを市が借りて何かのセンターや保育園、災害時の避難機能を設けるといいと思います。鎌倉には観光客として多くの方が来られるが、彼らがどこに逃げたらいいかわからない状況です。市役所の場所はランドマークであればよく、市役所にはお金は使わずに、その時代の若い人が選択し、もっといい活用をしてくれると思っている。 そうすれば借金もあまり増えず、市民にも喜ばれるし、安全対策にもなると思います。	本庁舎の跡地については民間資金をうまく取り入れ、利活用をしたいと考えています。大きな方向性としては、移転後、一部窓口の機能を残しつつ、生涯学習センターのホール、ギャラリー機能、中央図書館の機能などを集約したいと思っています。そこにプラスで民間の機能も入れることで、賑わいや憩いを創出しながら、地域活動の拠点となる場にしていく計画です。 各論の話になりますが、避難所的な機能も当然検討をしています。本庁舎が深沢に移転し、現状の場所が跡地になるのは10年程先になるため、具体的なものではありませんが、少なくとも観光客などの一時避難に使えるようなことは検討しているところです。